

認知症本人大使（さが認知症すまいるリーダー）の任命について

令和6年1月に施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」においては、地方公共団体が「認知症の人が生きがいや希望を持って暮らすことができるよう、認知症の人が自らの認知症に係る経験等を共有することができる機会の確保」に取り組むことが明確化されました。

これらを踏まえ、県では、県民の皆さま一人ひとりに認知症への理解を更に深めていただけるよう、新たに任命する認知症本人大使「さが認知症すまいるリーダー」にご協力いただき、本人の思いや「新しい認知症観」の発信に取り組みます。

【さが認知症すまいるリーダーについて】

【活動内容】

認知症理解のための普及啓発にご協力いただきます。

- ① 県が行う認知症の普及啓発活動への参加・協力
- ② 県の認知症施策へのご意見、ご提案
- ③ 研修会等における本人メッセージの提供
- ④ ご本人同士の関わりへの協力 等

【任 期】

任命日より2年以内

（令和8年9月1日～令和10年8月31日）

※任期途中の退任及び任期満了後の再任は妨げない

【任 命 日】

令和8年9月1日（火曜日）

【任命する3名のご紹介】

平川 哲男（ひらかわ てつお）様

佐賀市在住 78歳

2025年10月、アルツハイマー型認知症と診断される。
長年、まちづくりなどの地域福祉活動のリーダーとして活躍されており、診断後も、地域づくりに関わっていきたいと様々な地域活動に積極的に参加されています。

坂本 幸徳（さかもと ゆきのり）様

杵島郡在住 66歳

若年性認知症の軽度認知障害（MCI）と診断される。
診断時や日常で感じたことなどをノートに記録されており、自分の経験などが同じように悩んでいる人の役に立てればと考えられています。

右近 守（うこん まもる）様 【再任】

小城市在住 85歳

82歳の時、アルツハイマー型認知症と診断される。
4歳の時に被爆した経験を持ち、認知症と診断された後も、子どもたちに「平和の大切さ」や「戦争の悲惨さ」についての講話を続けられています。

